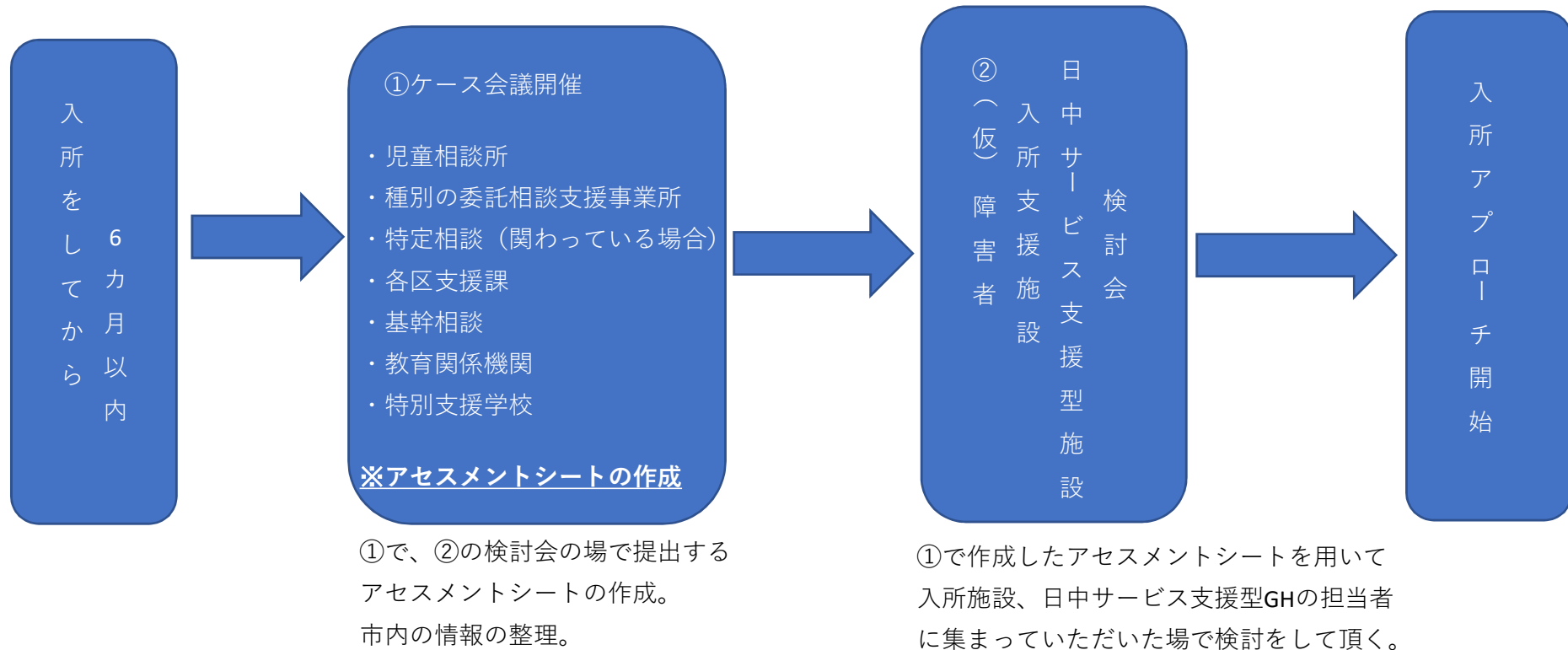


## 令和3年度及び令和4年度 専門部会の活動について

部会名	子ども部会
目的	障害福祉分野だけでは解決できない障害児の課題について、分野を超えて関係機関が集まって課題解決に向けて具体的な協議を実施する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児に係る課題の共有及び解決に関すること。</li> <li>・障がい児等の支援の連携に関すること。</li> </ul>
部会員	<p>自立支援協議会委員：飯塚委員（部会長）、池谷委員</p> <p>関係機関：静岡北特別支援学校、当事者団体、障害福祉サービス事業所、児童発達支援センター、発達障害者支援センター、障害者相談支援推進センター、児童相談所、特別支援教育センター、障害福祉企画課</p> <p>事務局： サポートセンターコンパス北斗</p>
令和3年度活動内容	<p>①障害児に計画相談をつなげる仕組みを検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援部会と相互に情報交換を行う。・委託相談支援事業所の案内方法の検討。</li> </ul> <p>②児童発達支援事業所連絡会、放課後等デイサービス連絡会の活動内容について情報共有や児童発達支援事業所一覧の配布先の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所一覧の配布先の検討、掲載方法の検討。・活動内容の情報共有。</li> <li>・保護者が事業所の情報を入手しやすいよう、ワムネットのチラシを完成。（別紙1）</li> </ul> <p>③市外から静岡市に戻る強度行動障がい児の受け入れ先不足に対する取組を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移行が計画的に進むようなフローチャートの作成をおこない、実働していく。</li> </ul> <p>④障がい児の就学に関する課題を検討</p> <p>4-1 こども園、幼稚園からの就学までの流れが、保護者へと伝わっていない。周知されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学の流れについて周知方法の検討・フローチャートの作成をおこなっている。</li> </ul> <p>4-2 1歳6カ月の検診等で言葉の発達が見られた時に、どこに繋がたらよいか、どの時期で繋げるのが良いのかの判断が不明確。</p>
令和4年度活動内容	<p>【継続】①障がい児の就学に関する課題の検討</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県教育委員会、静岡市特別支援教育センター（R3 子ども部会プロジェクト）の案内文があるが、保護者目線からすると、わかりにくさがあるため、もう少し保護者と支援者への理解が深まる内容を検討し、作成を予定している。</li> <li>・手をつなぐ育成会の保護者や児童発達支援事業所、幼稚園やこども園等に、就学に関してのアンケートの実施。その結果を踏まえたフローチャートの作成を行う。</li> </ul> <p>【継続】②・④障がい児に計画相談をつなげる仕組みを検討。児童発達支援事業所連絡会、放課後等デイサービス連絡会の活動内容について情報共有を行い、課題の抽出をしていく。</p> <p>&lt;取り組み内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に児セルフプラン率の区別、種別、内訳、明細を数値化して頂き、実績提出を依頼することで分析に活かす。（R4.3.1 現在：8.2%）</li> <li>・計画相談の実態把握から課題抽出をおこない、検討していく。</li> <li>・計画相談の役割と委託相談の役割と計画相談につなげるフローチャートの完成：放課後等デイサービスや児童発達支援事業所の職員が計画相談の説明をしやすくする目的。放課後等デイサービス連絡会を通じて、説明方法などをお伝えしていく予定。（R3 子ども部会プロジェクトチームで作成を進めていたので、R4に完成をする。）</li> <li>・児童発達支援事業所連絡会、放課後等デイサービス連絡会に参加し、情報共有を行い、課題の抽出に努めていく。</li> </ul>

# 強度行動障害・行動に課題のある児童さんの 移行までの流れ フローチャート



**原則：児童相談所が主催となり、この会議の開催を行う。**

令和3年度及び令和4年度 専門部会の活動について

部会名	地域移行支援部会
目的	障がい者の地域移行の推進や安心・安定した地域生活を実現、継続するための支援体制を整備する。
役割・内容	地域にある課題について、部会及びワーキンググループで出来ることを検討し、他機関・他職種等と連携を図りながら、課題解決に向けて実践する。
部会員	<p>自立支援協議会委員：中村委員(部会長)、勝又委員</p> <p>関係機関：静岡県精神科病院協会、日本精神科看護協会静岡県支部、静岡県弁護士会、静岡県作業療法士会、静岡県精神保健福祉士協会、精神障がい者家族会、静岡市民生委員児童委員協議会、基幹相談支援センター、精神系相談支援事業所、ワーキンググループ長、ピアサポーター、こころの健康センター、精神保健福祉課</p> <p>事務局：精神保健福祉課、障害福祉企画課</p>
令和3年度 活動内容	<p>1 地域移行支援部会（開催：年2回）の協議内容 【協議内容】・退院支援専任相談員の取組状況と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢福祉分野との連携づくりについて</li> <li>・「安心できる暮らし」の実現と事業について</li> <li>・「ピアサポーター」について</li> <li>・ワーキンググループ活動について</li> <li>・静岡市における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて</li> </ul> <p>2 地域移行支援部会ワーキンググループ（開催：月1回）</p> <p>① 高齢福祉分野との連携・関係づくり：高齢分野との合同勉強会の開催（駿河区：令和4年1月17日）、ケアマネット協会の研修会への参加（令和4年1月～3月）</p> <p>② 住まいの体制作り：住宅あっせん事業に向けた宅建協会との連絡会の開催、研修会の調整 家族会との交流会の調整</p> <p>③ ピアサポート活動の体制づくり：ピアサポーターとのオンラインによる意見交換会の開催、ピアサポーターを取り巻く環境と課題の確認、課題解決に向けた取り組み方法について検討</p>
令和4年度 活動内容	<p>1 地域移行支援部会の開催（年2回） ※第1回 令和4年6月13日開催</p> <p>2 地域移行支援部会ワーキンググループ（開催：月1回）</p> <p>① 高齢分野との連携づくり</p> <p>令和3年度に駿河区で開催した高齢分野との合同勉強会を、葵区、清水区に拡大して開催 高齢分野との定期的・継続的な意見交換会の検討</p> <p>② 精神障がいに関する理解促進等に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅確保に関する活動 宅建協会で障害やサービスに関する研修を開催 住宅あっせんシステムの運用にむけた調整</li> <li>・ピアサポート活動 活躍の場の検討、静岡市での普及啓発に関する活動</li> <li>・地域に向けた活動 民児協、家族会への理解促進に向けた取り組み</li> </ul>

令和3年度及び令和4年度 専門部会の活動について

部会名	相談支援部会（勉強会）
目的	相談支援部会の主要課題である相談支援専門員の数の確保と質の向上を図る。
役割・内容	相談支援専門員のおかれている現状から勉強会の内容を検討し、情報共有する。
令和3年度 活動実績	<p>①第1回 令和3年9月14日（火） 内容 a.複数の特定・障害児相談支援事業所の協働による機能強化型サービス利用 支援費Iの取り方について ・行政説明 ・好事例紹介 b.計画相談・委託相談の連携支援の好事例紹介</p> <p>②第2回 令和4年2月1日（火） 内容 計画相談担当者、委託相談担当者の現状について（座談会形式） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>
今後の予定 方向性など	<p>年2回開催予定</p> <p>①第1回 日時：令和4年9月27日（火）午後 予定 会場：番町市民活動センター大会議室 内容：計画相談担当者、委託相談担当者の現状について（座談会形式）</p> <p>②第2回 日時：令和5年●月●日（●）予定 会場：未定 内容：第1回の内容により決定。</p>

令和3年度及び令和4年度 専門部会の活動について

部会名	相談支援部会(ワーキンググループ)
目的	地域生活支援部会の災害プロジェクトチームと連携し、「災害時避難行動要支援者への支援について」活動を展開する。
役割・内容	防災について学び、静岡市の「個別避難計画策定モデル事業」に協力する。
令和3年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 6月22日(火) 第1回相談支援部会 開催</li> <li>* 8月23日(月) 第1回ワーキンググループ会合を実施</li> <li>* 10月18日(月) 第2回ワーキンググループ会合を実施)</li> <li>* 12月11日(土) 西豊田地区地域防災訓練を見学 ・避難所の設営と運営について学ぶ。</li> </ul> <p>地域生活支援部会災害 PT より依頼を受け、モデル事業に22名が参加。ワーキンググループ会合では個別避難計画策定の進捗状況の確認や質疑応答を行った。</p>
4年度の 活動内容	<p>【ワーキンググループ会合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①静岡市の「個別避難計画策定モデル事業」の実績及びWGメンバーの策定した「個別避難計画」の内容についてフィードバックする。</li> <li>②防災についての学習会を開催する。</li> <li>③令和4年度以降の「個別避難計画」策定について、利用者の被害想定や優先度等を含め、地域生活支援部会災害 PT と検討する。</li> </ul>

令和3年度及び令和4年度 専門部会の活動について

部会名	相談支援部会（プロジェクトチーム）
目的	障害分野と高齢分野の連携について課題を整理し、利用者の移行や各制度についてお互いの支援者がお互いの分野を理解し円滑な連携を図れる関係を構築できるよう相談支援の充実を図る。
役割・内容	障害分野と高齢分野との連携を深め、障害分野への関心や参入を促すために課題を検討し取り組んでいく。
令和3年度 活動実績	<p>① 令和3年3月6日 第一回 相談支援部会                  ② 令和3年8月23日 プロジェクトチーム 第一回会議                  ③ 令和3年10月18日 プロジェクトチーム 第二回会議</p> <p>高齢分野の方たちにも会議に参加していただき、前回会議の振り返りと他市の「高齢分野、障害分野の連携」について報告を行った。他市の取り組みとして5つの県内市町村に確認したが、「情報 引き継ぎ書」について具体的に取り組んでいる市町村はまだ無かったが、利用者や支援者に介護保険への移行に向けた説明資料を作成している市町村はあった。定期的な研修会や連絡会についてもまだ未実施のところが多くあり、包括的支援体系を構築していく中で検討していくとの市町村が多かった。</p> <p>高齢分野の方々からもご意見をいただき、検討した結果、当初予定していた「情報 引き継ぎ書」の作成ではなく、障害分野から高齢分野への移行の際の注意事項や手順をまとめた「各支援者向けの説明資料」を作成することとした。</p>
令和4年度 活動内容	<p>①令和4年8月頃                  プロジェクトチーム 第一回会議 予定                  障害分野から高齢分野への移行について「支援者向けの説明資料」の作成</p> <p>②令和4年11月頃                  プロジェクトチーム 第二回会議                  「支援者向けの説明資料」の完成</p> <p>③令和5年1月頃                  地域包括支援センター等への「支援者向けの説明資料」の説明会を開催</p>

令和3年度及び令和4年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
目的	障がいのある人の地域生活を推進していく上での地域課題について、相談支援事業者や障害福祉サービス事業所等で課題となっている事例等を通じて把握し、不足している・社会資源を満たすための方策を検討する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 障がい者等に係る地域生活課題の解決に関すること</li> <li>② 地域生活支援ネットワークの整備に関すること</li> </ul>
部会員	<p>自立支援協議会委員：遠藤委員、中村委員、渡邊委員、小久江委員、塩田委員</p> <p>関係機関：障害者相談支援センターわだつみ、静岡市支援センターなごやか、その他障害福祉サービス事業所、当事者団体</p> <p>事務局：地域生活支援ネットワークコーディネーター、障害者相談支援推進センター、障害福祉企画課、障害者支援推進課、精神保健福祉課</p>
令和3年度活動内容	<p>(1) 地域生活支援部会の開催 (2回)</p> <p>&lt;主な内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域生活支援ネットワークまいむ・まいむ活動内容の報告</li> <li>②静岡市型「日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価方針」についての協議</li> <li>③日中サービス支援型指定共同生活援助事業所のヒアリング</li> <li>④災害時の障がいのある方への支援等に関するプロジェクトチームの活動報告</li> </ul> <p>(2) 地域生活支援ネットワーク会義の開催 (2回)</p> <p>&lt;主な内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「強度行動障害等の手厚い支援が必要な方々の地域生活の充実」についてのグループワーク</li> <li>②「相談支援と緊急対応」についてのグループワーク</li> </ul>
令和4年度活動内容	<p>(1) 第1回地域生活支援部会の開催 (令和4年6月20日)</p> <p>&lt;協議内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度地域生活支援ネットワークまいむ・まいむの取組について</li> </ul> <p>→令和4年度まいむ・まいむで特に重点的に取り組む内容である「障害福祉サービス事業所連絡会の効果的な活用」と「短期入所共通健康診断書の周知及び効果的な活用方法」について協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②「災害時の障がい者支援」に関するプロジェクトチームの活動について</li> <li>③令和4年度 第1回静岡市障害者自立支援協議会への提言事項について</li> </ul> <p>(2) 第2回地域生活支援部会 (令和4年11月以降に開催予定)</p> <p>&lt;主な内容 (案) &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和4年度及び令和5年度の地域生活支援ネットワークまいむ・まいむの取組について</li> <li>②静岡市日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価委員会の活動報告及び令和5年度の委員会の活動について</li> </ul> <p>→令和5年度の活動内容の検討を行う中で、評価委員会の評価結果を元に令和5年度の訪問対象事業所を決定する。</p> <p>(3) 地域生活支援ネットワーク会議の開催 令和4年9月、令和5年3月 (予定)</p>

令和3年度及び令和4年度 専門部会の活動について

部会名	権利擁護・虐待防止部会
目的	障がいのある人の権利擁護・虐待防止を図るため、関係機関と連携した対応を協議する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者等の権利擁護・虐待防止に係る普及啓発に関すること。</li> <li>・障がい者等の虐待事例の情報共有及び事例検証に関すること。</li> <li>・障がい者虐待の早期発見、再発防止策の検討に関すること。</li> </ul>
部会員	<p>自立支援協議会委員：劉委員（部会長）、北島委員、渡邊委員、市川委員          関係機関：わらしな学園、社会福祉士会、静岡県精神保健福祉士協会、静岡県弁護士会          障害者相談支援推進センター          事務局：障害福祉企画課、障害者支援推進課、精神保健福祉課          オブザーバー：各区障害者支援課、障害者支援推進課</p>
令和3年度 活動内容	<p><b>第1回部会 令和3年6月16日（水）</b>          ・「静岡県障害者虐待防止マニュアル」の改訂のために協議。          ⇒協議の結果を踏まえ、令和4年3月にマニュアルの改訂を行った。</p> <p><b>障害者虐待防止センター勉強会 令和3年11月26日</b>          ・11センターを集め、虐待防止センターの役割を再確認した。</p> <p><b>第2回部会 令和3年12月13日（月）</b>          ・令和4年度、「事例検証会」を「障害者虐待防止センター勉強会」に変更することについて協議。          ・令和4年度部会の中で取り組む内容について検討。          ⇒委託相談支援事業所の権利擁護に関する疑問点を解消する機会の検討を行うこととした。</p>
令和4年度 活動内容	<p><b>第1回部会 令和4年6月20日（月）午前10時00分～</b></p> <p><b>【議題】</b></p> <p>（1） 令和4年度 虐待防止センター勉強会について</p> <p>① 今年度の虐待防止センター勉強会について、趣旨やテーマについて確認した。また、内容を検討するにあたり、静岡県成年後見センターから挙げた課題について協議を行った。</p> <p>② 令和5年度の勉強会について、各区障害者支援課と虐待防止センターで、事例を用いてグループワークを行う方向で検討していく。</p> <p>（2） 成年後見制度利用開始後の周囲のサポート体制について          →成年後見制度利用開始後、後見人がこれまでの関係機関と十分に連絡を取れず、チーム支援に困難をきたす場合があるという課題について協議。</p> <p>（3） 自立支援協議会で協議したい議題及び来年度以降の部会について</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>（1） グループホーム連絡会について</p> <p>（2） 静岡県障害者虐待フローチャート（簡易版）について</p> <p>（3） 障害者虐待防止と対応の手引きの改訂について</p> <p><b>静岡県障害者虐待防止センター勉強会 令和4年9月～10月に開催予定</b></p> <p>静岡県成年後見センターに講師を依頼し、成年後見制度についての勉強会を開催する。</p> <p><b>第2回部会 令和4年11月に開催予定</b></p>



令和3年度及び令和4年度 専門部会の活動について

部会名	就労支援部会								
目的	障がいのある方の就労に関する課題を共有し、改善策の検討及び実現に向けた取組みを行う								
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者等の就労に係る課題の共有及び解決に関すること。</li> <li>・障がい者等の就労に係る支援の連携に関すること。</li> </ul>								
部会員	<p>自立支援協議会委員：市川委員、間宮委員、伊藤委員</p> <p>関係機関：障害者就業・生活支援センターさつき、計画相談支援事業所、就労移行支援事業所、静岡障害者職業センター、静岡市発達障害者支援センター、障害者相談支援推進センター、商業労政課</p> <p>事務局：障害福祉企画課、精神保健福祉課</p>								
令和3年度 活動内容	<p>○就労支援部会の開催</p> <table border="1" data-bbox="448 936 1056 1023"> <tr> <td>第1回</td> <td>令和3年 6月15日(火)</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和3年12月15日(水)</td> </tr> </table> <p>○就労移行支援事業所連絡会の活動</p> <table border="1" data-bbox="448 1111 1152 1198"> <tr> <td>第1回</td> <td>令和3年5月11日(火)</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和3年9月14日(火) リモート開催</td> </tr> </table> <p>○地域資源見学ツアー（放課後等デイサービスの職員が就労移行支援事業所を見学する） ※令和3年7月5日～7月16日の期間で見学会を実施</p> <p>○就フェスの開催 合同面接会および雇用管理セミナーは規模を縮小して開催するため就労移行支援事業所のブース出展が困難となり就フェスの開催を延期。 &lt;代替&gt; 新たにQRコードをつけた就労移行支援事業所マップを企業や学校へ配布する。</p> <p>○ゆうやけ相談会の開催 実施回数：0 会場：5 風来館 概要：コロナの影響により未実施。障害福祉サービス（就労定着）の利用により、利用者数は減少の見込み。</p>	第1回	令和3年 6月15日(火)	第2回	令和3年12月15日(水)	第1回	令和3年5月11日(火)	第2回	令和3年9月14日(火) リモート開催
第1回	令和3年 6月15日(火)								
第2回	令和3年12月15日(水)								
第1回	令和3年5月11日(火)								
第2回	令和3年9月14日(火) リモート開催								

<p>令和4年度 活動内容</p>	<p>&lt;令和4年度活動予定&gt;</p> <p>○就フェスの開催 概要：雇用に関する関係機関及び関係団体とで、障害者雇用についての企業理解の促進を図り、障害者就職面接会と連携を図りながら、令和3年度の就フェス開催に取り組んでいく。</p> <p>○就労移行支援事業所連絡会の実施 実施時期：令和4年6月10日 開催。 目的：各事業所が抱える課題や情報を共有し、課題を検討するため。また連絡会を作ることにより「まいむまいむ」につながる。 概要：児童計画相談事業所見学の開催や、「企業が障がい者へ企業説明する就フェス」に向けて土台となるイベントを開催について取り組んでいく。</p> <p>○第1回就労支援部会の開催 概要：令和4年6月22日開催。 内容：（1）令和4年度就労支援部会の活動概要等について （2）就労継続支援A型・B型事業所から一般就労へつなげる方法について</p> <p>○第2回就労移行支援事業所連絡会の開催 概要：令和4年12月を目途に開催予定。</p> <p>○第2回就労支援部会の開催 概要：令和4年12月を目途に開催予定。</p> <p>○第3回就労移行支援事業所連絡会の開催 概要：令和5年3月を目途に開催予定。</p> <p>○就労継続支援A型B型への支援の検討 授産製品だけでなく事業所の運営の改善等に対する支援方法を検討する。</p>
<p>協議会で 協議が必要な 議題①</p>	<p>【課題】</p> <hr/> <p>【内容】</p>